

# 建設工事に係る委託において、若手技術者の配置を評価する総合評価落札方式の試行について

## 1 現状と課題

委託業務においても、若手入職者の減少により技術者の高齢化が進行し、技術力の低下や品質確保への影響が懸念される。

⇒ **優秀な技術者の確保・育成が課題**

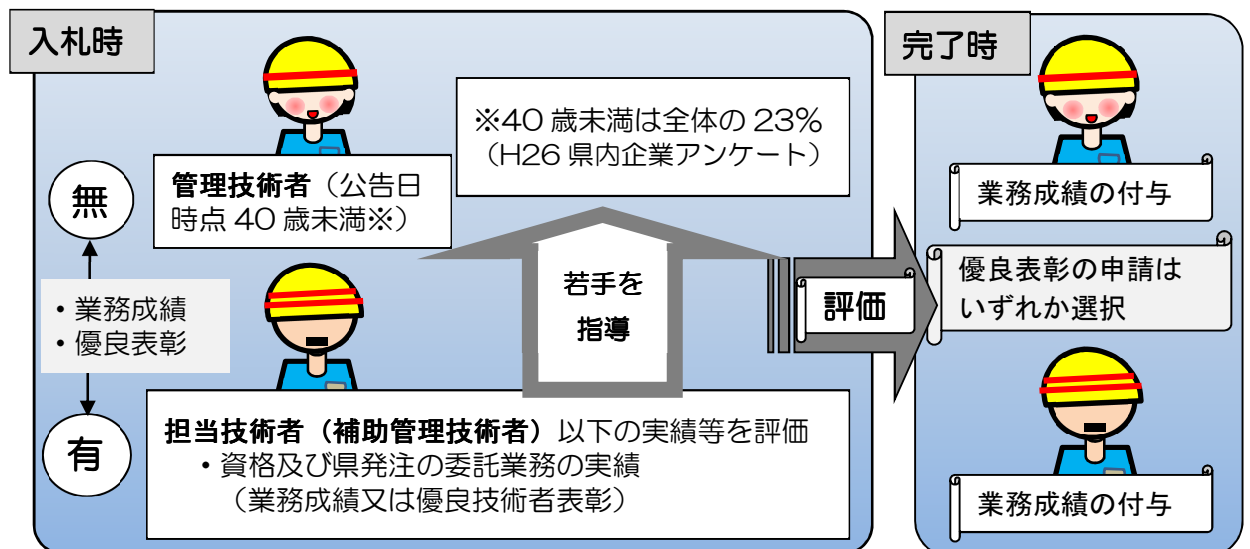
## 2 取組内容

現行の総合評価落札方式は、管理技術者の業務成績や表彰履歴等を評価していることから実績のある技術者が優先され、実績の少ない若手技術者は配置されにくい。

このため、以下の取組により若手技術者（40歳未満）の配置を容易にし、技術の継承を進めるとともに、活躍の場を確保する。

**取組①**：管理技術者に実績の少ない若手技術者を配置した場合、担当技術者（補助管理技術者）の持つ資格、実績（業務成績、優良表彰）で評価。

**取組②**：管理技術者に若手技術者を配置した場合、技術者要件で 0.25 点加点。



**取組③**：さらに、技術等提案型において管理技術者に予定される若手技術者からの提案を評価。

## 3 実施時期

平成 29 年 4 月以降の公告案件で試行

（設計業務を対象に約 20 箇所 [うち、技術等提案型 数箇所]）